

Suita サステナブル・スマートタウンプロジェクト

○応募事業：エネルギー自給エリア【設備等導入】

○代表事業者：パナソニック ホームズ株式会社

○地域課題

事業実施地の吹田市片山・岸部地区は、古い町並みの残る旧市街が広がるとともに、豊かな自然環境も併せ持っており、そのすぐ南では、吹田市の「健都構想」のもと、国立循環器病研究センターを中心に医療クラスターの形成を目指した再開発が進められている。この地域との相互連携による、地域全体での更なる価値向上が求められている。

吹田市の第3次環境基本計画では、再生可能エネルギーの活用を中心とした低炭素社会への転換がエネルギー分野の目標とされている。その具体的施策として、「RE100に向けた再生可能エネルギー比率の高い電力調達の推進及び促進」や「防災拠点をはじめとした公共施設における大規模災害時の自立・分散型エネルギー確保に向けた、再生可能エネルギーと蓄電池を組み合わせた電源設備の導入推進」などが掲げられており、再エネの導入と併せてレジリエンスの強化が求められている。

○事業実施地：大阪府吹田市岸部中5丁目

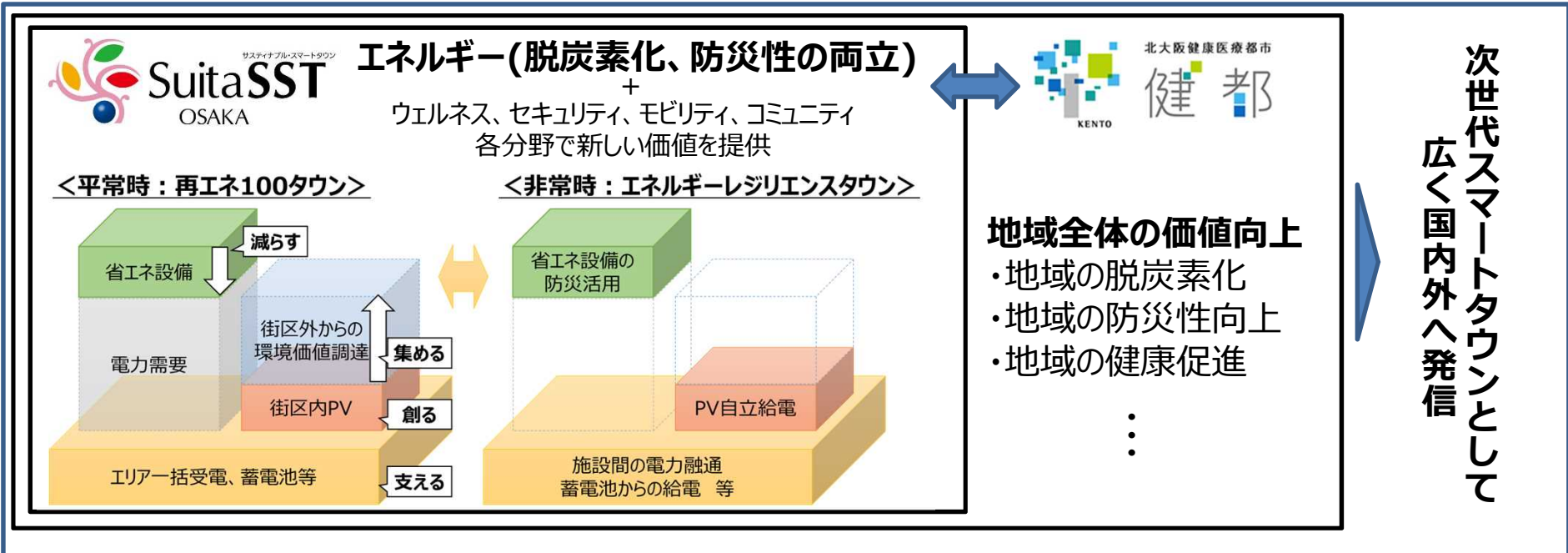
○共同実施者：J R西日本不動産開発株式会社
株式会社関電エネルギーソリューション
Next Power株式会社

○本事業を活用した地域課題の解決方策

地域課題を踏まえたエネルギーの取組みとして、Suita SSTでは、商業施設を含む複合開発街区全体の消費電力を実質再生可能エネルギー100%として大規模な脱炭素化を行う「日本初※」の「再エネ100タウン」を実現することとする。さらに「再エネ100タウン」に向け設置した設備を非常時にも自立給電し、街区内および周辺住民へエネルギー開放を行うことで、地域全体のレジリエンス向上にも繋げる。また、健都構想との相互連携による「健康」分野など、多岐に亘る取組みを推進しながら、地域全体の価値向上に繋げていく。

※関西電力調べ。住宅、商業などの複合開発エリアにおける消費電力を、実質再エネ100%とする取組みは日本初。

○目指す地域循環共生圏のイメージ

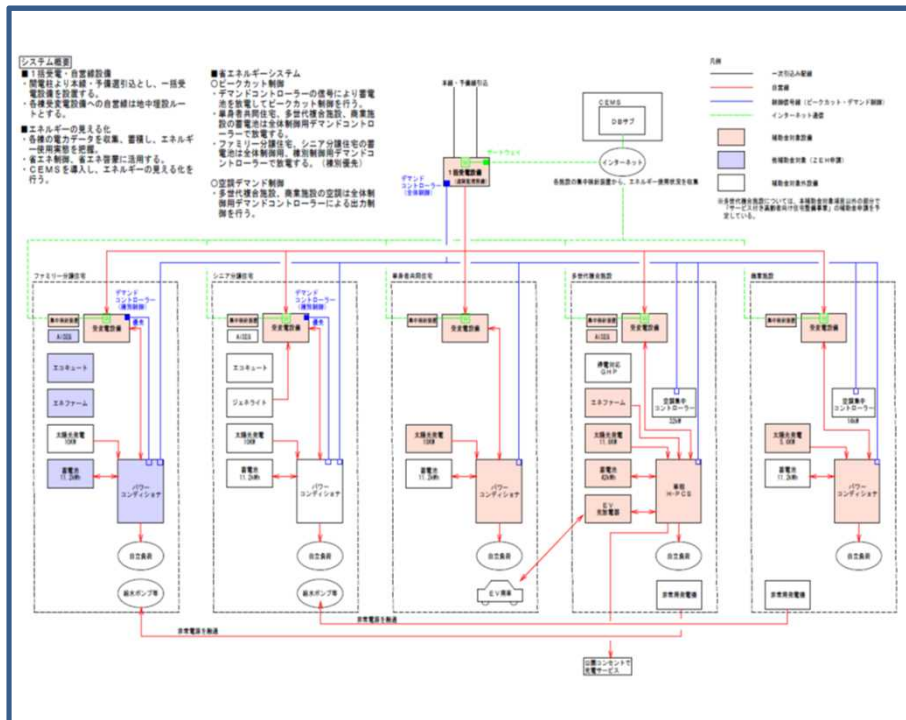


○事業概要

本事業は、高効率設備導入により省エネを行う「減らす」取組み、街区内に太陽光パネルを設置して再エネを「創る」取組み、不足する環境価値を外部から「集める」取組み、また、それらのシステムを自営線や蓄電池などで「支える」取組みにより、「再エネ100タウン」を実現し大幅な脱炭素化を進める。あわせて「エネルギーレジリエンスタウン」として、「再エネ100タウン」実現に向けて設置した設備は非常時に自立給電し、街区内および周辺住民へエネルギー開放を行うことで、地域全体のレジリエンス向上にも繋げていく。

「再エネ100タウン」「エネルギーレジリエンスタウン」を両立させることで、地域全体の価値向上に繋がるとともに、環境性と防災性を兼ね備えた地域循環共生圏の構築を目指す。さらに、本事業を次世代のスマートタウンにおける先導モデルとして広く国内外へPRしていくことで、社会全体で「環境」および「防災」への積極的な取組みが進み、新たな需要とイノベーションの創出に繋がると考える。

○導入予定の設備等のイメージ



○事業の実施体制

